

合併20周年、変革の年として新たなスタート

中期経営計画では2019年度を「モノづくり回帰元年」と位置づけ、東亜 DKK アナリティカの吸収合併に続き、2020年4月にはアリス東亜 DKK を吸収合併して組織を再編し、「モノづくり力」を強化しています。2020年10月には合併20周年を迎えます。この記念すべき年は今までの延長線上ではなく、生産技術と開発技術のさらなる融合によって世界で選ばれるハイレベルの製品を生み出していくために、大きく変革する一年にしたいと考えています。

中国向け新モデルが国家認証を取得、現地生産を始動

当社は、海外で高まる計測ニーズにお応えし、世界各地へ製品を送り出しています (P2 参照)。2019年には新たに環境水質モニタリング装置の中国向けモデルを開発、中国の国家認証を取得し、現地生産を本格始動しました。これは中国政府が国内製造業の強化を推進する「中国製造2025」政策に対応するものです。中国ではほかにもPM2.5の生成物質のひとつであるVOCの測定装置なども市場投入しています (P13 参照)。今後もアジア地域を軸に、積極的なグローバル戦略を進めてまいります。

環境問題から考える新たなモノづくり

世界は今、気候変動などの環境問題に対し、持続可能な社会の実現に向けた課題解決に取り組んでいます。新たな制度・仕組みの構築、技術革新、産業構造の変革、ライフスタイル・価値観の変化などが急速に起こっており、企業にとって新たなビジネスチャンスが広がっています。国連のSDGs^{*1} (P3 参照) に基づき、当社の強みを活かした独自製品の開発を推進しています。

※1 Sustainable Development Goals : 持続可能な開発目標

DBSを営業・開発・生産の場でも展開

当社が業務資本提携している米国HACH (ハック) 社の親会社であるダナハー・コーポレーションは、トヨタ生産方式の考え方を取り入れたDBS^{*2}と呼ばれる経営手法を確立しています。当社では経営レベルで取り入れていたこのDBSを、2019年度から営業・開発・生産の各部門でも積極的に展開しています。DBSのツールを活用し、目

標管理、進捗率・達成率などを表にして「見える化」を進め、業務の改善と効率化を図っています。

※2 Danaher Business System : ダナハー・ビジネス・システム

働きやすい職場環境づくりをさらに推進

従業員の安全と健康を守ることは、企業の重要な使命です。安全と健康を最優先する職場風土と、心身ともに健康で働くことのできる快適な職場環境の実現を目指して、「有給休暇取得の推進」「職場のハラスメント防止」「健康宣言の実践 (P8 参照)」に取り組んでいきます。また、人材育成のための教育機会も増やし、一人ひとりがイキイキと働ける企業を目指しています。

新型コロナウイルスへの対応

瞬く間に世界中に感染が広がった新型コロナウイルスですが、当社では感染防止対策の徹底など業務継続に必要な環境をいち早く整備し、年度末納期の出荷を無事に完了することができました。当社の製品は水道・電力や医療などのライフラインにかかわる施設で重要な役割を果たしており、製品・部品の供給やサービスの提供を維持し続ける社会的責務を負っています。今後も社員の安全を確保しながら、事業の継続を図ってまいります。

代表取締役社長

高橋俊夫

